

新入生が保育現場で培ってきた育ちと学びを小学校へ円滑につなぐことができるように、児童理解を深め、スタートカリキュラムを計画することで、児童の学びに向かう人間性を育成する。

学校教育目標 自 考 自 動

月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3
育 つ て ほ し い 児 童 の 姿	《 今までの経験・実態 》 ・自然と関わっている (泥団子、植物、虫、お店やさんごっこ) 「学習面」 ・文字の読み書きが少し 「生活面」 ・小学校生活の 1 日の流れが分からない。 (不安感)			《 1 学期中に目指す姿 》 「学習面」 ・ひらがなの読み書きができる。 ・1 0 までのたし算・ひき算ができる。 「生活面」 ・学校のきまりを知る。 ・学校生活に慣れる。 ・給食当番や掃除の仕方を知り、行う。			《 2 学期中に目指す姿 》 「学習面」 ・カタカナ・漢字の読み書きができる。 ・繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算の計算ができる。 「生活面」 ・時間を気にして、行動することができる。			「学習面」 主体的に学びに向かう姿 ・自然と関わる中で疑問をもったり、人に伝えたりできる。 ・「困った」「分からない」を自分から伝えることができる。 「生活面」 自分で考え行動する姿 ・時間など、学校のきまりを守る。 ・友達同士で声をかけ合い、行動する。		
習 活 動	生活科「ともだちと なかよくならう」 生活科「がっこうと なかよくならう」			生活科「ようこそ あきの テーマパークへ」(展覧会)			生活科「もうすぐ 2 年生」(成長・自立を発表)					
も の ・ こ と 等	・朝の支度が終わった児童から「なかよしタイム」を設け、緩やかに 1 日を始められるようにすることで、不安を取り除く。 ・45 分を 2 教科 3 教科に分けてモジュール授業を行う。 ・4 月に各学年と交流を行うことで、児童同士のつながりをもつ。			・運動会や学習発表会などの行事のために、写真やカレンダー(行事までのカウントダウン)などで、見通しをもち、安心して練習を行えるようにする。			・自己決定の場を増やす。 ・係活動や少人数での話し合いの場面を仕組む。					
園 ・ 所 と の 連 携	・幼保小連携一斉研修を行い、職員同士の信頼関係を構築し、また共通理解を図る。 ・夏休みに小学校職員が各園所の保育参観を行い、園児の実態を知る。 ・スタート訪問を行うことで、児童が安心して登校できるようにしたり、入学後の児童の姿を交流したりする。			・学習発表会の校内学習発表会または、学年練習鑑賞への招待 ・秋の物を使ったおもちゃのテーマパークへの招待			・次年度入学児童の見学 ・幼保小連携一斉研修を行い、今年度の取組の成果と課題を共有し、次年度に繋げる。					
の 組 織 と の 連 携	・支援が必要な児童の実態について個別に連携する。 ・1 学期中に就学までに目指したい姿を連携する。									・入学予定の児童の実態を交流する。(児童の引き継ぎ)		
の 家 庭 と の 連 携	・入学式や 4 月の学級懇談で、スタートカリキュラムの意義やねらいを伝え、児童や保護者の不安を取り除く。			・各行事について、通信で様子を伝えたり実際に見てもらったりして、児童の成長を伝え、感じてもらう。			・入学説明会で、学校生活の流れや持ち物を詳しく伝え、保護者理解を図る。					